

平成24年度一般会計補正予算などを可決

市議会12月定例会が12月5日に招集され、12月20日までの16日間の会期で開かれました。上程された議案は、防災会議条例の一部を改正する条例の制定や平成24年度一般会計補正予算など23件と、雇用対策調査特別委員会の設置など議員提案11件です。32件が原案のとおり可決・承認され、消費税増税の中止を求める意見書など2件が否決されました。

上程された主な議案

◇にかほ市防災会議条例の一部を改正

災害対策基本法の一部改正に伴い、防災会議の役割と委員構成を改める条例の改正を行うものです。

◇にかほ市公民館条例の一部を改正

象潟公民館の耐震化改修工事に合わせて施工した内部改修工事に伴うレイアウト変更により、使用料の改定を行うため、条例の改正を行うものです。

◇地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例

就職を希望している生徒は、全体の約28%の68人で、11月末現在、54人が内定しています。県内企業への内定者は33人、うち、にかほ市内への内定者が9人で、県外企業へは21人となっています。

◇障害者の虐待防止

10月1日、障害者虐待防止法が施行されました。この法律では、国や地方公共団体、障害者福祉施設従事者等使用者などに、障害者虐待防止のための責務を課すとともに、虐待を受けたと思われる障害者を発見した人に、通報義務を課すなどしています。本市においては、福祉事務所

◇農業について

稲作の作況指数は、県中央部で「100」と平年並みとなった。

の整備

地域主権改革一括法（略称）は、これまで国の法令で定めていた基準のいくつかを市等の条例への委任を規定したもので、関係法令の一部改正を受け、にかほ市が管理する市道の構造の技術的基準等を定める条例など4条例の制定と6条例の一部改正が行われました。

◇あらたに生じた土地の確認

県の金浦漁港修築事業で、漁港施設用地として公有水面を埋め立て、新たに生じた土地について確認を求めたものです。
【埋め立て区域】
金浦字塩焚浜102番2、103番4及び194番地先の公有水面埋立地
【埋め立て面積】
15、402・79㎡

ています。にかほ市の作柄は、夏場の出穂期以降、地域によっては水不足に見舞われ、その影響で乳白粒、胴割れ粒が多く発生し、1等米比率は昨年より約5ポイント低い、91・2%となっています。

また、農協の概算金や集荷の状況ですが、福島第1原発事故の影響による、需給ひっ迫を懸念する業者との集荷競争が予想されたことから、農家に支払われる概算金も高めに設定され、ひとめぼれ1等米60kgあたり1万3千円と、昨年の概算金を2千500円程上回っています。11月9日現在の集荷数量は、市全体で約7、400トンと、昨年と同程度となっています。

◇新たなリサイクル施設整備

現在の清掃センターには、リサイクル系設備が整備されていないため、収集したカン類以外の古紙、ペットボトル、ビン類は、由利本荘市のリサイクル施設に処理を委託しています。新たな熱回収施設建設においては、カン類、ペットボトルの処理のほか、可燃性粗大ごみ・不燃性粗大ごみなどの家庭ごみや、海岸漂着ごみ等も含めて、

◇平成24年度一般会計補正予算（第6号・第7号）

歳入歳出それぞれ3億7、839万円を追加し、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ144億2、273万円となりました。

歳出の主なものは、地上デジタルテレビ難視聴地域を解消するための無線システム普及支援事業費等補助金845万円、保育園への年度途中入所児童の増加により保育所運営費負担金の7、689万円、勢至公園の観音瀧の排水改良を行う水辺環境整備工事に900万円、仁賀保勤労青少年ホーム耐震化・改修事業の工事設計監理委託料及び工事費に1億4、300万円などです。

◇雇用対策調査特別委員会の設置

地域の経済、雇用情勢、支援及び新規産業創出等による市内産業の活性化等に関する調査・対策を行うため設置するものです。【構成は次のとおりです】
村上次郎（委員長）、佐々木正明（副委員長）、竹内睦夫、鈴木敏男、宮崎信一、市川雄次、伊藤知、佐藤元

自区内処理を行えるリサイクル系設備を、併設したいと考えています。また、古紙やビン類については、現清掃センター解体後の跡地に、ストックヤードを整備し、集積後に資源としての利活用を図る計画です。

主な教育行政報告

◇国民文化祭・あきた2014

にかほ市が主催する事業は、文化事業として取り組み、実績のある「伝承芸能祭」「奥の細道象潟全国俳句大会」に出演する団体や募集範囲等の規模を拡大し「鳥海山伝承芸能の祭典」「奥の細道全国俳句大会」と称する事業名で実施します。この事業のほかに、本市から誕生し全国各地にキャラクター・ヒーローを広めるきっかけをつくれた「超神ネイガー」を中心に、全国からキャラクター・ヒーローを募り、社会貢献活動などに関するシンポジウム等をプログラムとする「ご当地ヒーロー文化祭」を加えた三事業としていきます。事業の決定は、県の工程表どおり進められた場合に、25年6

主な市政報告

◇市税の状況

10月末における現年課税分の調定額は、個人市民税が約10億1、380万円、予算対比約2、170万円（2・1%）の減、法人市民税は約8、410万円、予算を約3、760万円（30・9%）程下回っていますが、決算では昨年度と同程度の調定額を見込んでいます。固定資産税については約13億7、000万円、予算対比約3、590万円（2・7%）の増となっています。

◇市内の雇用状況

本庄ハローワーク管内の有効求人倍率は、8月の0・45倍から9月には0・42倍と下降傾向にありましたが、10月には0・46倍と上昇に転じています。製造業が大きなウエイトを占める当地域では、契約解除や再編による離職者の増加により有効求人倍率が下降傾向にありましたが、誘致したコールセンターの募集により、プラスに転じたものと考えています。

選挙管理委員会報告

◇投票区・投票所の再編

投票区・投票所の再編については、23年の春から慎重な審議を重ね、検討を進めてきました。この間、市民説明会やパブリックコメントを実施したほか、議会全員協議会や行政懇談会などで概要説明を行い、数々のご意見をいただきました。検討の結果、11月15日の選挙管理委員会において、41投票区を18投票区にすることに決定しました。なお、再編に対して「高齢者等の交通手段の確保」「投票率の低下が懸念される」等の意見がありました。再編により新投票所までの距離が一定以上遠くなる投票区に対しては、選挙当日に限り、旧投票所から新投票所までの臨時バスを運行します。実施時期については、25年4月に行われる秋田県知事選挙から適用することになります。

